

和牛繁殖農家の経営支援について

日本共産党高山市議団
坂下美千代



問 今年度、市は、和牛繁殖農家への支援として、粗飼料価格の高騰分に対する補填を実施していないが、農家の厳しい経営状況をどう捉えているか。早急な支援策を検討できないか。

答 5月から6月にかけて市が委嘱している畜産振興アドバイザーとともに、市内の全畜産農家約150軒を巡回訪問して意見を伺った。主なものとして、エサ代が高い、子牛価格が安い等、特に繁殖農家の経営については、餌代の高騰や子牛価格の下落の影響によって非常に厳しい経営状況であることを改めて認識した。市として新たな支援策を検討していく。

諸物価の高騰がつづくなか、暖房費の支援について

日本共産党高山市議団
上嶋希代子



問 物価高がつづくなか、市民の暮らしは大変になっており、暖房費の助成が必要だと考える。

- 1、市民税非課税世帯に対して昨年を上回る手厚い支援
- 2、1以外の一般家庭、零細個人事業者への支援を求める。

答 冬季の暖房費等については、11月に入り国は国民の安心、安全と持続的な成長にむけた総合経済対策について閣議決定した。重点支援地方交付金を活用した支援事業の実施を促していることから総合的な視野で必要な支援を検討する。国からの詳細情報がまだなので、年内の実施は難しいと考えている。

安心安全な飲用水の提供に水質管理強化を

未来
松山篤夫



問 市の水道水における健康への影響が懸念されるPFAS(有機フッ素化合物)の水質検査の結果は。

答 水源域周辺の状況を踏まえ混入の可能性が懸念される水源を対象に、臨時の水質検査として令和5年8月に下切水源(小八賀川)及び宮第1水源を、令和6年6月に宮第2水源の水質検査を行ったところ、いずれも不検出(検出可能な最下限値5ng/L未満)という結果であった。現在国においては、PFOA(ペルフルオロオクタン酸)、PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)について水質検査項目への追加が検討されており、今後、国の方針を踏まえ適切に対応していく。

中橋周辺での歩行者安全対策について

未来
車戸明良



問 観光名所の一つで古い町並につながる中橋周辺の混雑は長年の大きな課題であり、魅力的な観光地として持続していくには、安全で快適な歩行空間を確保する必要がある。早期に交通規制に取り組む考えは。

答 中橋周辺は、車両と歩行者が近接する状況が見られる。古い町並に近い市営神明駐車場のバス区画を変更し、観光バスの乗り入れを抑制する実証実験を実施したことにより課題も明らかになった。観光客に安心して散策していただけるよう、規制の方法を検討し、早期に実施したい。

